

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 コサカ・ライフサポート	代表者	小坂 忍	法人・ 事業所 の特徴	「感謝をもって誠をつくす」を理念とし、ご利用者個々の暮らしのニーズに柔軟に対応する事を心がけています。
事業所名	小規模多機能の家 是川浄信館	管理者	小坂 愛		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	11人	0人	0人	1人	0人	4人	0人	16人

※出席者について…新型コロナウイルス流行に伴い運営推進会議の開催を中止とした為、各必要書類を書面にて配布する事によりご意見を頂きました。
上記人数欄には書面配布を行った人数を記入しておりますので、ご理解の程宜しくお願い致します。

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画を具体的にし、分かりやすく項目を挙げ、職員間で達成できるよう努める。 継続して、24時間シートの見直しと改善に努め、職員が閲覧しやすいようファイリングを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護記録が紙ベースから電子システムへの移行期間であった。紙ベースでは利用者個々のプランが見やすく、電子システムではセキュリティ対策が適正であった。両方のメリットとデメリットを探ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見等、特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護記録に関して、紙ベースと電子システムのメリットを選びすぎり、プランが意識できる記録方法を構築する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 継続して、感染予防対策に努める。 事業所内の装飾だけではなく、利用者個々が落ち着ける空間を作れるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> マスク着用は常とし、手洗いや消毒を徹底してきた。また、マスク着脱毎に交換し、廃棄方法にも十分に気を付けてきた。ご利用者の座席の配置を考慮したり、パーテーションを用意したりと感染が拡大しないように取り組んできた。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見等、特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して、感染予防に努めながら、利用者個々が楽しく且つ安心安全に過ごせる空間を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 感染状況に応じて、健康教室やおぞら市相談所へ参加すると共にパンフレット等を配布し、当館を身近な場として認識してもらえるようアプローチする。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して、感染予防対策に努めながら、できる範囲で健康教室やおぞら市相談所、地域のフリーマーケットでのボランティア活動等に参加してきた。制限されている中ではあったが、地域の方とふれあう機会を大切にすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントや消防訓練はコロナが終息していない為、地域自体も出来ていない。だから「やっていない」「参加できていない」と答えるのは正解だと思う。老人クラブや健康教室は行っているようだけど、今は我慢するしかない。感染の事を考えれば、他者を呼ばずに事業所自体でイベントや訓練をきちんとやっていけばいいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して、感染状況をみながら、健康教室やおぞら市相談所等の地域イベントへ参加していく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況をみながら、地域の行事やイベントに参加し、散歩やドライブ等で地域に出向く機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源に関しては、勉強会等で理解を深めてきているが、実際として積極的に地域の行事やイベントに参加する事ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目 C の意見と同じ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況をみながら、利用者の社会資源のインフォーマルな幅を広げていきたい。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を社会資源とし、出された提案を実現できるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、対面での会議が殆どできない状況であった。書面での意見交換ではあったが、引き続きご意見用紙を活用し、皆様らのご意見を伺う事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見等、特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、意見用紙を活用しながら、委員の方々から地域の情報や当館への提案を汲み取るよう努めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況をみながら、地域の方々にも消防訓練に参加していただく。 ・AED 設置事業所である事を認識していただけるよう周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での防災訓練は中止になっているようで参加する事ができなかったが、当館での消防訓練は 2 回(昼間、夜間)実施している。感染対策と災害対策は順次見直しをし、BCP についても現在作成中である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・項目 C の意見と同じ。 ・BCP は作成していますか。現在、BCP を完成させている事業所はそこまで多くないですが一度作成してみて、そこから検証しながら、必要な所を改善していくようにお願いしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、当館での消防訓練を実施し、より多くのスタッフが参加できるように配慮する。 ・クラスター発生時の対応と対策を徹底する。

事業所自己評価・ミーティング
様式

実施日 令和4年 8月 11日

1. 初期支援
(はじめのかかわり)

氏名 小坂愛、照井、長谷部、加藤、亀田、阿部、岡田、林崎牧、小野寺、河原木、大場

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	必要な情報を適宜適切に共有できるよう、チームワークを高めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報が少ない状況下でもご利用者へ不安を与えないよう声掛けしたり、必要な支援を提供してきたと思う。しかし、スタッフ各々の意識や勤務状況の違いから、情報共有や支援内容についてスタッフ間に相違があったと思う。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	2人 (16.7%)	9人 (75%)	1人 (8.3%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3人 (25%)	8人 (66.7%)	1人 (8.3%)	
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2人 (16.7%)	10人 (83.3%)		
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3人 (25%)	9人 (75%)		
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2人 (16.7%)	7人 (58.3%)	2人 (16.7%)	1人 (8.3%)

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 相談から利用開始までの期間が殆どない状態で、情報が少ないまま利用に至る方もいらっしゃるが、申し送りやフェイスシート等で詳細を把握し情報を共有している。 利用開始までに余裕がある場合は、基本的な情報の他に会議等で管理者やケアマネへ面談時の状況等も確認している。 事前の情報をもとに24時間シートを用いた生活記録を作成している。実際に支援して感じた事や情報の相違点があれば、記録して口頭でも申し送るようにしている。 初期支援の際は、ご家族やご利用者の不安にならないよう声掛けしている。 ご利用者だけでなく、支えるご家族の不安等も受け止めるよう努めている。
--------	---

できていない点	<p>※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不安を取り除くまでのコミュニケーションが足りていないと思う時がある。 ②ご家族との関係作りも含め、ご家族のニーズやどのような不安があるのかを把握しきれていない方もいる。 ③体験のご利用者や新規のご利用者への対応が手探り状態でちゃんと支援できているのか分からない時がある。 ④まだ入社してからの期間が短いため、全般的に把握と理解ができていないことが多い。そのためか、コミュニケーションの取り方が分からない。
---------	---

次回までの具体的な改善策	<ul style="list-style-type: none"> 自身に与えられている担当業務に関して責任を持って取り組む。 チームワークを高めるために会議の場で参加者全員が意見交換できる環境を作っていく。
--------------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・常に振り返りをしながら、プランを意識した支援を心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・生活記録の個別化でプランやご利用者個々の流れを把握しやすい状況であったが、電子化への移行期に入りパソコンやタブレットでの記録に苦戦している状態である。

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組めましたか？	2人 (16.7%)	7人 (58.3%)	3人 (25%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	2人 (16.7%)	6人 (50%)	4人 (33.3%)	
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3人 (25%)	7人 (58.3%)	2人 (16.7%)	
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1人 (8.3%)	8人 (66.7%)	3人 (25%)	
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2人 (16.7%)	4人 (33.3%)	4人 (33.3%)	2人 (16.7%)

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランや24時間シート等を意識しながら支援している。 ・本人の思いに耳を傾けながら、その思いに添える支援ができるようにミーティング等を通じて模索している。 ・ケアプランの目標は直ぐに目につきやすいように生活記録の上部スペースに載せるように改善し、意識しながら支援するようにしている。 ・全員とまではいかないが、自分の担当ご利用者の目標等は把握している。 ・支援に活かしていけるように会議等では自身が感じた事を発言したり、実践した事等を説明している。
--------	---

できていない点	<p>※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ケアプランや「～したい」を画面で見ているだけ意識して支援できていない。 ②認知症状やご利用者の環境によっては、ご利用者の「～したい」とご家族の「～したい」にズレがある。ご利用者本人の「～したい」への支援ができていないように思う。 ③日々の業務でいっぱいになり、ご利用者と関わる時間が作れていない。 ④振り返って次への対応に活かせていないような気がする。
---------	---

次回までの具体的な改善策	・BlueOcean システムと紙ベースでの記録のメリットを選りすぐり、プランの目標を常に意識できるような新しい記録方法を構築する。
--------------	--

事業所自己評価・ミーティング
様式

実施日 令和4年8月11日

3. 日常生活の支援

氏名 小坂愛、照井、長谷部、加藤、亀田、阿部、岡田、林崎牧、小野寺、河原木、大場

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・利用者様の声を大切にし、信頼関係を築くと共に些細な変化に気付けるように努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・よく観察し、変化に気付けるよう努めていたと思う。コミュニケーションを図る時間が大切であると分かっているも電子化への移行期のため、慣れるまでは記録の方に時間がかかるような気がしている。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組めましたか？	3人 (25%)	8人 (66.7%)	1人 (8.3%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1人 (8.3%)	5人 (41.7%)	5人 (41.7%)	1人 (8.3%)
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4人 (33.3%)	8人 (66.7%)		
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2人 (16.7%)	5人 (41.7%)	4人 (33.3%)	1人 (8.3%)
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4人 (33.3%)	8人 (66.7%)		
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3人 (25%)	8人 (66.7%)	1人 (8.3%)	

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション時はよく観察し、ご利用者の思いを汲み取るように心掛けている。 ・ご利用者に変化があった場合は、独自の思いや考えに偏らないよう他スタッフへ意見を求め共有しながら支援している。 ・少しでも疑問に思ったことや気付いたことは、そのままにせずリーダーや管理者へ投げかけるようにしている。 ・気付いたことは記録に残し共有し、検討が必要なことは会議や都度提起するようにしている。
--------	---

できていない点	<p>※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①以前の暮らしをしっかりと把握できていない。生活環境が把握できている方とできていない方がいる。 ②言葉少ないご利用者や話す事ができないご利用者とのコミュニケーションが図れず、声にならない声に気付いてあげられていない。 ③スタッフ間での情報共有が上手くいっていない時がある。 ④日中みの勤務の為、夜間の状況が把握できていない。 ⑤会議やミーティングの場で発言できない。
---------	--

次回までの具体的な改善策	・客観的に観察し、主観的な支援や記録にならないように気をつける。
--------------	----------------------------------

4. 地域での暮らしの支援

氏名 小坂愛、照井、長谷部、加藤、亀田、阿部、岡田、林崎牧、小野寺、河原木、大場

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・利用者様の利用時間外の生活状況の把握に努め、暮らしに必要な支援を見極めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご利用者個々の地域資源にはどのようなものがあるのか、少しずつではあるが見えてきたように思う。新人スタッフも入ってきた為、改めて「地域資源とは何か」を勉強する機会の必要性も感じた。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？		8人 (66.7%)	4人 (33.3%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		10人 (83.3%)	2人 (16.7%)	
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1人 (8.3%)	8人 (66.7%)	3人 (25%)	
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		7人 (58.3%)	5人 (41.7%)	
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		7人 (58.3%)	5人 (41.7%)	

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・フェースシート等で情報を把握している。 ・ご家族と連絡し合い情報を共有しながら、新たに支援が必要かなど検討している。 ・独居の方は分かりづらいが日々のコミュニケーションの中で聞き出したり観察もしている。 ・地域資源を活用しながら、今後もししたら自宅で生活をしていけるのか考えている。
--------	---

できていない点	※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> ①地域資源についてあまり考えてこなかった。 ②事業所以外での人間関係等を把握できていない。 ③推進委員や民生委員の方等、地域との関係性が分からず意識していなかった。

次回までの具体的な改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源とは何か、改めて勉強会等で学ぶ機会を作る。 ・継続して、ご利用者の生活状況の把握に努め、暮らしに必要な地域資源を探していく。
--------------	--

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名 小坂愛、照井、長谷部、加藤、亀田、阿部、岡田、林崎牧、小野寺、河原木、大場

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・継続して、利用者様が住み慣れた地域で生活を続けられるよう、地域資源を柔軟に活用していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域資源を活用するにあたり、スタッフの支援が必要な場合が多くなると感じている。また、コロナ禍でスタッフやご利用者自身も閉鎖的になっているように思う。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人 (16.7%)	9人 (75%)	1人 (8.3%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2人 (16.7%)	7人 (58.3%)	3人 (25%)	
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3人 (25%)	9人 (75%)		
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3人 (25%)	7人 (58.3%)	2人 (16.7%)	
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2人 (16.7%)	9人 (75%)	1人 (8.3%)	

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・「通い」「訪問」「泊まり」を利用者の状況やご家族の声に合わせてながら適切に提供できている。 ・移動販売や車椅子で利用できる床屋など地域資源を活用しながら住み慣れた自宅での生活を支援している。 ・ご利用者の変化等に気付いた時は管理者やリーダーへ報告し、情報を共有しながら柔軟に対応している。 ・ニーズの把握に心掛け、出来る限りニーズに添えるようサービスの調整に努めている。
--------	---

できていない点	<p>※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ボランティア等とは、あまり関わっていないと思う。 ②その日その時で柔軟な支援ができていると思うが、できない時もある。 ③家族のニーズに応じてサービスを提供しているがそれが適切ではないと感じる時がある。 ④施設全体ではなく自分自身はその時々のご利用者の状況に合わせて柔軟な支援ができていないように思う。
---------	---

次回までの具体的な改善策	・必要な支援を把握し、支援が過多になっていないか、支援に依存していないかを改めて見直してみる。
--------------	---

6. 連携・協働

氏名 小坂愛、照井、長谷部、加藤、亀田、阿部、岡田、林崎牧、小野寺、河原木、大場

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々により多くお声を掛けていただけるような環境作りに努め、小規模多機能型居宅介護についても発信できる場を作っていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動も中止になることもあり、上手く発信する方法を見出せなかった。また、コロナに感染したスタッフもいて感染を持ち込む恐れや逆に他方へ拡大させてしまうかもしれない恐れ等で積極的な活動は見合わせていた。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人 (8.3%)	8人 (66.7%)	3人 (25%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3人 (25%)	8人 (66.7%)	1人 (8.3%)	
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2人 (16.7%)	8人 (66.7%)	2人 (16.7%)	
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	4人 (33.3%)	6人 (50%)	2人 (16.7%)	
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1人 (8.3%)	8人 (66.7%)	2人 (16.7%)	1人 (8.3%)

できている点	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でイベント等は中止になっている中、出来る範囲で町内会の活動や地域での会議に参加している。自分自身は参加できていないが管理者等が代行して参加している。 感染対策をしながら地域の保育園の園児が虎舞い等の演舞を披露してくれている。 あおぞら市相談所に参加して地域との関わりを持ちたいと努めている。 移動販売車に場所の提供をしているため買い物に訪れた方や郊外清掃時等にご近所の方々から声を掛けられることも増えてきている。
--------	---

できていない点	※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。
<ul style="list-style-type: none"> ①地域の会議やイベントに参加できないことがある。 ②地域住民の方々が気軽に事業所を訪問することができない。 ③避難訓練に地域の方が来ない。 	

次回までの具体的な改善策	<ul style="list-style-type: none"> 継続して感染予防対策をしながら、地域の活動や会議等へ参加する。 状況を見て、地域の方と交流できるイベントを企画する。
--------------	---

7. 運営

氏名 小坂愛、照井、長谷部、加藤、亀田、阿部、岡田、林崎牧、小野寺、河原木、大場

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・継続して、当館として担える役割を模索しながら、地域課題を共に考えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域との交流が少なかった為、地域課題自体を把握しきれていなかった。

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	1人 (8.3%)	9人 (58.3%)	2人 (16.7%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	3人 (25%)	7人 (58.3%)	2人 (16.7%)	
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人 (25%)	8人 (66.7%)	1人 (8.3%)	
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人 (25%)	7人 (58.3%)	2人 (16.7%)	
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	3人 (25%)	7人 (58.3%)	2人 (16.7%)	

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者やご家族の声を大事にし、苦情やご意見を頂いた際はスタッフ間で共有し、同様のことがないように検討し良い方向へ進むよう取り組んでいる。 ・会議等では自分の意見を言うように心掛けている。 ・意見書を配って地域の方の意見を聞いたり、あおぞら市相談所に月1回参加している。 ・高齢者が多い団地にある事業所として認知していただいている。
--------	--

できていない点	※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。
①	地域の方との交流が少なく、意見や苦情が上手く収集できていないように思う。
②	体験利用から利用登録への移行が少ない。
③	地域課題を考えていく点が不足している。

次回までの具体的な改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域会議やあおぞら市相談所を活用し、地域の状況を把握する。 ・職員会議の場で参加者全員が発言できるようにする。
--------------	---

事業所自己評価・ミーティング
様式

実施日 令和4年 8月 11日

8. 質を向上するための取組み

氏名 小坂愛、照井、長谷部、加藤、亀田、阿部、岡田、林崎牧、小野寺、河原木、大場

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	・業務に直結するような勉強内容を検討しながら、スタッフの質の向上に繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・外部研修へはほぼ参加する事ができなかったが、継続して社内勉強会は開催する事ができた。新人スタッフに対して、もう少し技術面での実務的な勉強内容を盛り込んだ方がよいと思った。

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？	3人 (25%)	7人 (58.3%)	2人 (16.7%)	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	4人 (33.3%)	8人 (66.7%)		
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人 (8.3%)	6人 (50%)	2人 (16.7%)	3人 (25%)
③ 地域連絡会に参加していますか		4人 (33.3%)	3人 (25%)	5人 (41.7%)
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	3人 (25%)	7人 (58.3%)	2人 (16.7%)	

できている点	・施設内では毎月勉強会に参加したり、担当にあたる月は課題に対しての資料を作成し講習することで質の向上に努めている。また、勉強会に参加できなかった時は資料を読む等で勉強し日々の業務に活かしている。 ・資格取得に取り組んだ。 ・危険予測をしながら介護事故を未然に防ぎ、ご利用者の安心安全に努めている。
--------	--

できていない点	※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。 ①外部等のスキルアップのための研修に参加できていない。 ②事故報告やヒヤリハット等の情報共有が足りないと思う。
---------	---

次回までの具体的な改善策	・社内木鶏会を通し、自身の強みを見つけ出す。 ・社内勉強会で支援に直結するような実務的な内容を取り入れる。
--------------	--

事業所自己評価・ミーティング
様式

実施日 令和4年8月11日

9. 人権・プライバシー

氏名 小坂愛、照井、長谷部、加藤、亀田、阿部、岡田、林崎牧、小野寺、河原木、大場

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、身体拘束、虐待のないケアに取り組んでいく。 ・利用者様の人権や尊厳を大切にしながら、プライバシーや個人情報の保護に取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束、虐待のないケアに取り組むことができた。 ・プライバシーの配慮に関して配慮しているつもりでいるが「うっかり」という場面が時々見受けられ、都度注意喚起してきた。

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人 (41.7%)	7人 (58.3%)		

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
①	身体拘束をしていない	12人 (100%)			
②	虐待は行われていない	12人 (100%)			
③	プライバシーが守られている	6人 (50%)	6人 (50%)		
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3人 (25%)	8人 (66.7%)	1人 (8.3%)	
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5人 (41.7%)	7人 (58.3%)		

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や虐待は行われていない。介護福祉士の倫理としてスタッフ全員が意識しながら支援している。 ・ご利用者の個人情報や人権、プライバシー保護が守られるよう配慮するよう取り組んでいる。 ・成年後見人制度について、今現在は利用している方はいらっしゃらないが勉強会で学んでいる為、ある程度は理解している。
--------	--

できていない点	<p>※「できていない点」について、下記の「その理由」を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①プライバシーへの配慮はしているつもりでいるが、会話中に無意識のうちに話してしまっていることがある。 ②業務中に情報共有するため、スタッフ同士の会話のする事が多々あるがその内容が他ご利用者へ聞こえてしまっていることがある。 ③時々、スタッフ同士でご利用者のことを大きな声で話している時がある。
---------	---

次回までの具体的な改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、身体拘束、虐待のないケアに取り組んでいく。 ・情報共有をする時は、周囲の状況を必ず確認し声のトーンを落として話す。
--------------	--